

事業所名

WAKU-WAKU pixie (児童発達支援)

支援プログラム

作成日

7年

6月

1日

| | | | | |
|-----------|-----------------|---|--------------------------|--|
| 法人（事業所）理念 | | 子どもたち一人ひとりと向き合い、より良い毎日が送れるように、切れ目のない支援を提供します。子どもたちのたくさんの笑顔が未来につなげ、すべての人が幸せに暮らせる社会を目指します。 | | |
| 支援方針 | | お子様やご家族の心と向き合い、楽しみながら心身の発達につながるように丁寧に寄り添う療育活動を行います。笑顔で自分らしく、豊かな生活を送る力を身につけられるように、ご家族と一緒にスタッフ一同で支援します。 | | |
| 営業時間 | | 9時0分から18時0分まで | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ○心身の健康状態の把握（体温測定、支援中の健康状態の観察等を行う。） ○構造化等による生活環境の調整（構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・絵カード等を使用した具体的な表示等を行う。） ○基本的な生活スキルの獲得（トイレトレーニングや食事等に関する支援を行う。） | | |
| | 運動・感覚 | ○保有する感覚の活用（保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚等の感覚を活用できるよう、遊び等を通して支援する。） ○感覚の特性への対応（感覚の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。） | | |
| | 認知・行動 | ○認知や行動の手がかりとなる概念の形成（物の機能や属性、形、音、色の変化する様子、空間、時間等の概念の形成を図れるように支援する。） ○数量、大小、色名等の習得（数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行う。） | | |
| | 言語 コミュニケーション | ○言語の形成と活用（具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつけること等により、自発的な発声を促し、体系的な言語を身につけられるように支援する） ○人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得（個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。） | | |
| | 人間関係 社会性 | ○模倣行動の支援（遊びを通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。） ○一人遊びから共同遊びへの支援（一人遊びから並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担や、ルールを守って遊ぶ共同遊びを通して、社会性の発達を支援する。） ○集団に参加するための支援（集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援する。） | | |
| 家族支援 | | 家族からの相談に対する適切な助言等 ・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 | 移行支援 | ・保育所等への移行支援 ・保育所等と併行利用している場合における併行利用先との連携 |
| 地域支援・地域連携 | | ・地域の関係者、関係機関と連携した支援 | 職員の質の向上 | ・感染症及び食中毒のまん延防止 ・安全計画 ・非常災害対策 ・身体拘束の適正化 ・虐待防止 等の研修を実施。 ・職務、経験年数に応じた研修等の受講。 |
| 主な行事等 | | ○お花見 ○夏祭り ○ハロウィン ○クリスマス会 など | ○避難訓練（年2回） ○消防訓練（年2回） | |

事業所名

WAKU-WAKU pixie (放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日

7年

6月

1日

| | | | | |
|-----------|-------------|---|--|--|
| 法人（事業所）理念 | | 子どもたち一人ひとりと向き合い、より良い毎日が送れるように、切れ目のない支援を提供します。子どもたちのたくさんの笑顔未来につなげ、すべての人が幸せに暮らせる社会を目指します。 | | |
| 支援方針 | | お子様やご家族の心と向き合い、楽しみながら心身の発達につながるように丁寧に寄り添う療育活動を行います。笑顔で自分らしく、豊かな生活を送る力を身につけられるように、ご家族と一緒にスタッフ一同で支援します。 | | |
| 営業時間 | | 9時30分から18時30分まで | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ○健康状態の把握(心身の健康状態の観察・検温・体調不良時の対応共有) ○健康の増進(おやつ提供・水分補給の促し・クッキングなどを通じた食育) ○基本的な生活スキルの獲得(挨拶・身だしなみ・手洗い・物の管理など) ○構造化による環境調整(部屋のレイアウト・スケジュール・掲示物など) | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ○姿勢と運動・動作の向上(姿勢保持・粗大運動・微細運動・ビジョントレーニング) ○保有する感覚の総合的な活用(視覚・聴覚・触覚・嗅覚・固有覚・前庭覚などを取り入れた遊び) ○感覚の特性への対応(運動機能や感覚の感じ方に合わせて課題を設定・拘りへの対応) | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ○認知の発達と行動の習得(空間・時間・数等の概念形成の習得と天気・気温・日付の把握) ○対象や外部環境の適切な認知と行動の習得(四季への興味・感性形成のための外出) | | |
| | 言語コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ○適切なコミュニケーション手段の選択・活用(個々に合わせて言葉・表情・身振り・機器等を用いて基礎的な能力を身に付ける) ○状況に応じたコミュニケーション(自分の思いや要求の伝え方を場面や相手の状況に応じた適切なやりとりを促す) ○読み書き能力の向上(理解や特性に合わせた課題などを取り入れた支援) | | |
| | 人間関係社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ○他者との関わりの形成(社会に適応するために必要なソーシャルスキルの獲得の支援) ○自己理解と行動の調整(気持ちの受容と代弁・クールダウンの場の提供) ○仲間づくりと集団への参加(ルールや手順の理解・施設外での活動提供) | | |
| 家族支援 | | <ul style="list-style-type: none"> 家族からの相談に対する適切な助言等 ・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 | 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等への移行支援 ・保育所等と併行利用している場合における併行利用先との連携 |
| 地域支援・地域連携 | | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係者、関係機関と連携した支援 | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症及び食中毒のまん延防止 ・安全計画 ・非常災害対策 ・身体拘束の適正化 ・虐待防止 等の研修を実施。 ・職務、経験年数に応じた研修等の受講。 |
| 主な行事等 | | <ul style="list-style-type: none"> ○お花見 ○夏祭り ○ハロウィン ○クリスマス会 など | <ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練(年2回) ○消防訓練(年2回) | |